

メールアドレスの漏えい事故について

東京都現代美術館のミュージアムショップを運営する事業者において、メールアドレスを漏えいする事故が発生しましたので、お知らせします。

関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

今後、再発防止に向け、より一層の情報管理を徹底してまいります。

1 事故の概要

東京都現代美術館のミュージアムショップ業務を委託しているカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社のスタッフが、展覧会図録をご予約のお客様へご案内メールを送信する際、メールアドレスをBCC欄ではなく、宛先欄に入力して発信した。

(1) 発生時期

5月10日（火）16時30分頃

(2) 発生場所

ミュージアムショップ NADiff contemporary 内

(3) 流出した個人情報

メールアドレス 106 件

2 経緯及び対応

(1) 5月10日（火）16時30分頃、ミュージアムショップスタッフが、展覧会図録をご予約のお客様へ案内メールを送信する際、メールアドレスをBCC欄ではなく、宛先欄に入力して発信した。

(2) 同日16時54分頃、1名のお客様から返信で誤送信の連絡があった。

(3) 同日17時15分頃、スタッフがお客様からのご指摘の返信に気づき、誤送信が判明した。

(4) 同日17時40分頃、メールを誤送信してしまった宛先の皆様に対して、宛先BCCにて、メール誤送信のお詫びとメール削除のお願いのご連絡を送信した。

(5) 5月11日（水）現在、現時点では、具体的な被害を確認していない。

3 今後の対応について

当該委託業者に対して、適正な情報セキュリティ管理について周知徹底を指示していたが、今回、誤送信が発生したことを受け、改めて委託業者内で適切な個人情報等の取扱い及び情報管理を徹底するよう指示し、再発防止に努める。特に複数人へのメール送信に際してはダブルチェックを徹底していく。

また、当財団が管理運営する施設にも本事案を共有し、個人情報を含む情報の適切な管理を徹底する。

【問い合わせ先】

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
電話 03 - 5245 - 1132